

小高区小中一貫教育に関するこれまでの経過 (時系列/概要)

時 期	内 容
令和元年9月	小高区学校統合に関する意見書提出(小高区学校適正化検討協議会→市) 「小高区の4小学校の合同運営を解消し1校に統合すべき」
令和元年11月	小高区学校統合準備協議会及び専門部会設置 (行政区長、PTA、認定こども園保護者、学校評議員、学校長) 学校統合に向けた様々な検討及び準備を行う
令和2年5月	小高区学校統合準備協議会中間報告書提出 (統合準備協議会→市) 令和3年4月時点では、施設分離型の小中一貫教育とした開設が現実的。施設一体型の小中一貫教育や義務教育学校の教育効果を慎重に分析し、施設一体化の実現性に加え、将来の小高区小中学校の目指すべき教育環境について今後も引き続き協議を進める。
令和2年8月	小高区小中学校再編計画策定 (市教委) 小学校統合時は「施設分離型」として開設、小中一貫教育を行う。今後、「施設一体型」や「義務教育学校」を目指し、協議を続ける
令和3年3月	小高区学校統合準備協議会報告書提出 (統合準備協議会→市) 小高小学校と小高中学校の立地的利点を生かした小中連携教育の検討を進めるとともに、施設併設型でも学校の教育活動における連携が図られることを望む。
令和3年4月	新 小高小学校開校 施設分離型で小高中学校と小中一貫教育を実施
令和5年8月	小高区地域協議会「小高区地域協議会委員提言に関する市の施策について意見交換」 <u>意見 (委員から)</u> 「小高小学校及び小高中学校を義務教育学校として新たに設置し、9年間の義務教育期間を通して一貫した教育方針のもと、小高区に生まれた子どもたちに、ふるさとを愛し、ふるさに誇りを持って生きることのできる人材を育てる」 <u>今後の取組計画・方針 (市から)</u> 「(略) 今後の小高小中学校児童生徒数の推移を踏まえ、 施設一体型の小中一貫校又は義務教育学校の設置について検討していく 」

令和5年11月	<p>意見書の提出（小高区地域協議会→市）</p> <p>●義務教育学校設置の検討について</p> <p>小高区においては、令和3年4月に小高、金房、鳩原、福浦の4小学校が再編され、小学校・中学校が1校ずつとなり、現在、小高小学校と小高中学校では行事を通じた交流や教職員の兼務発令など、様々なかたちで相互の連携が行われているところです。更に小中一貫したふるさと教育や特色ある教育を通して、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りを持てる人材を育てるためには、小学校課程から中学校課程までの9年間の義務教育を一貫して行うことができる義務教育学校の設置が有効であると考えことから、義務教育学校設置に向けた検討を進めること。義務教育学校設置を検討するうえでは、小中一体型の校舎や文教ゾーンを生かした周辺環境の整備、地域住民が学校活動に協力できる体制づくりについても、併せて検討すること。</p>
---------	---